

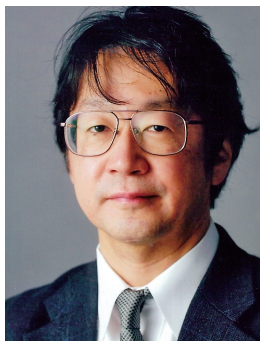
政治経済学部 秋の講演会2009

主催：政治経済学部

「ジャーナリズムの迷走 — 「政局」報道と「政策」報道 —

民主主義にとって民意の反映とは根幹であり、選挙はその仕組みの一つだが、プロパガンダ選挙が主流となりつつある昨今、有権者の判断を左右する報道に求められるものは何か。選挙における「民意偽装」を鋭く突くジャーナリスト齋藤貴男氏、長く放送の現場に携わり、民主党設立の呼びかけ人として党副代表など党の要職を歴任した参議院議員岡崎トミ子氏が、「報道」を語る。

■講演者プロフィール



齋藤 貴男

フリージャーナリスト

1958年生まれ。早稲田大学商学部卒、英国・バーミンガム大学大学院修了。『週刊文春』などの記者を経てフリーになる。社会・経済・教育など幅広い問題を取り上げ、近年は格差社会や憲法問題についても精力的に発言し続けている。『ルポ改憲潮流』、『憲法が変わっても戦争にならないと思っている人のための本』（高橋哲哉氏との共著）、『教育改革と新自由主義』、『治安国家拒否宣言——「共謀罪」がやってくる』（沢田竜夫氏との共著）、『住基ネットの〈真実〉を暴く——管理・監視社会に抗して』、『報道されない重大事』など多数。



岡崎 トミ子

参議院議員

1944年生まれ。ラジオ福島から東北放送。アナウンサーとして27年間放送の現場で働く。1990年衆議院議員に初当選、1994年村山政権で文部政務次官、1996年民主党設立を呼びかけ副代表に就任。1997年参議院補選当選、2001年、2007年再選。1990年の初当選から環境委員会を中心に所属。1998年党男女共同参画本部長、1999年党NPO委員長、2000年参議院総務委員会委員長、2001年『次の内閣』男女共同参画・人権・消費者、沖縄・北方・科学技術担当大臣、2003年党国民運動委員長、2004年党副代表、2007年『次の内閣』環境担当大臣を歴任。

■コーディネータ：高橋 愛子（本学政治経済学科准教授）

11月11日(水)11:00~12:30

会場：聖学院大学チャペル 〒362-8585 埼玉県上尾市戸崎1-1

(JR高崎線宮原駅よりスクールバスで7分、またはJR埼京線西大宮駅よりスクールバスで10分)

「ジャーナリズムの展望—報道に求めるもの—」

齋藤 貴男 フリージャーナリスト

若宮 啓文 朝日新聞コラムニスト(前論説主幹)
東京大学大学院客員教授

12月2日(水)

11:00~12:30 会場：聖学院大学チャペル



Love God and Serve His People

聖学院大学

【お問合せ先】 企画総務課

事前申込は不要です。

TEL. 048-781-0925

FAX 048-726-2962

http://www.seigakuin.jp E-mail pru@seig.ac.jp